

東南~南アジア周辺海域への巡視船えちごの派遣について

インド及びシンガポールにて同国海上保安機関との連携訓練等を実施

海上保安庁では、アジア各国との海賊対策に関する相互連携・協力推進を目的として、平成12年以降、毎年、巡視船を東南アジア海域等に派遣し、所要の海賊対策に当たっています。

派遣期間中、往復路の公海上においては、海賊行為等に対する巡視警戒・情報収集活動、 必要に応じて海賊行為への対処を行います。

同期間中、巡視船えちごのインド共和国及びシンガポール共和国寄港を予定しています。(インドについては、平成26年1月以来、約2年ぶり7回目の寄港、シンガポールについては、平成25年2月以来、約3年ぶり8回目の寄港。)

インド及びシンガポール寄港中は、国際協力の一環として、両国海上保安機関との連携訓練、 海賊情勢・対策に関する意見交換等を行い、両国との更なる連携・協力関係を推進していくことと しています。

なお、平成27年12月28日(月)に新潟港で行われる出港式が取材可能です。

1 派遣日程等

(1)派遣巡視船

巡視船えちご(総トン数3,100トン、ヘリコプター搭載) 第九管区海上保安本部新潟海上保安部所属

(2)寄港国(寄港地)

インド共和国(チェンナイ)

シンガポール共和国(シンガポール)

(3)派遣日程

平成27年12月28日(月)新潟出港

平成28年 1月12日(火)インド・チェンナイ港入港

1月13日(水)インド沿岸警備隊との連携訓練等(~3日間)

1月16日(土)チェンナイ港出港

1月21日(木)シンガポール港入港

1月22日(金)シンガポール警察沿岸警備隊との連携訓練等(~2日間)

1月24日(日)シンガポール港出港

2月 1日(月)新潟入港

2 海上保安機関との連携訓練

(1) インド

イ 目的・概要(予定)

海上保安能力の向上を目的として、海賊等の海上犯罪容疑船への立入検査、被疑者の確保を内容とする訓練、並びに、インド航空機による当庁巡視船への離着船訓練等を実施する。

ロ 実施日、訓練海域及び参加機関

平成28年1月15日(金)

チェンナイ港沖合

海上保安庁及びインド沿岸警備隊

- (2) シンガポール
 - イ 目的・概要(予定)

海上保安機関間の連携強化を目的とし、海賊等の海上犯罪にかかる情報収集・伝達、同容疑船への接近及び移乗後の容疑者制圧を内容とする訓練等を実施する。

ロ 実施日、訓練海域及び参加機関

平成28年1月22日(金)

シンガポール沖合

海上保安庁及びシンガポール警察沿岸警備隊

- 3 インド沿岸警備隊職員に対する乗船研修
- (1) 目的・概要(予定)

海上保安庁の巡視船にインド沿岸警備隊職員を乗船させることにより、当庁の巡視船・航空機の運用をはじめとした業務全般を理解させ、同沿岸警備隊との更なる連携・協力関係の強化を図る。

(2) 実施期間

平成28年1月16日(土)~21日(木) (チェンナイ港~シンガポール港までの航海中(6日間))

- 4 出港式の取材について
 - ○巡視船えちごの出港式を以下のとおり実施します。

日 時:平成27年12月28日(月)午後0時05分から午後1時00分まで

場 所:巡視船えちご係留岸壁(新潟港西区中央埠頭国際旅客ターミナル内)

住 所: 新潟市中央区竜が島1丁目6-5

(出国手続きの関係上、船内における取材は出来ません。)

- 〇出港式の取材を希望される社は、12月25日(金)午後4時までに、海上保安庁広報室(1603-3591-9780)まで連絡をお願いします。また、当日は午前11時45分までに、中央埠頭SOLASゲート付近にお集まり下さい(雨天時も同じ)。
- ※ 第九管区海上保安本部において同時広報いたします。